

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

年間テーマ	自然とあそびの出会い
園名	板橋保育園
クラス名	3.4.5歳児
時期	7月

1. テーマ

自然とあそびの出会い

<テーマの設定理由>

昨年度の経験から、より自然を身近に学び、考え、自ら発見して遊びを展開し、創造力を広げる。

2. 活動内容

透過性のある素材（カラーセロファン、色水、半透明の積み木など）をパネルに乗せ、光を透かすことで色の重なりや変化を楽しむ。

3. 活動スケジュール

子どもたちが自由に手に取り、遊べるように玩具設置する。

4. 環境のデザイン 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

俵型玩具、半透明積み木、カラーセロハン、葉っぱ 等
子どもたちが興味の持ったもの

5. 探究活動の実績

オイルタイマーや半透明積み木を使った光・影遊びが展開された。その際、下から光を照らしたらどうなるかな？という疑問が生まれ、ライトニングテーブルを使った光遊びへとつながった。今までは、横や真上から照らして遊んでいたため、「下から照らすと影がないね」「光の中に色がうつってきれい」と、今までの光の特徴との違いも気付いていた。

暗い部屋で様々な造形や色を静かに見る事により、心を落ち着かせ、じっくり静かな時間を満喫していた。

また、光遊びから花火のイメージが膨らみ俵型玩具で花火を作る姿が見られた。



6. 振り返り

光による、影の出方や色の混ざり方に着目したり、好きな形を作るといった、芸術的な構成遊びへと発展していた。今後は、葉脈、昆虫の羽、石の結晶などを下から照らすことで、普段は見えない細かな部分の観察を楽しみながら、自然物への興味を深めていきたい。